



陳情、要望の新しい流れについて確認した懇談会

三島市役所

細野議員と5区5市2町首長

陳情のあり方確認

衆院選静岡5区の5市2町(三島、富士、裾野、御殿場、伊豆の国市、函南、小山町)の首長と5区選出の衆院議員細野豪志氏の懇談会が21日、三島市役所で開かれた。今後の国への陳情や要望の仕方について確認したほか、細野氏に各市町ごとの要望を伝えた。

細野氏は陳情対応について、「わざわざ上京して官僚に要望書を持って行くという形は控えていただき、政治主導で副幹事長が政務三役に届ける形にしたい」とし、新た

な対応の流れについて「陳情、要望を受けた地元国会議員が早速に説明し、具連が取りまとめ組織委員会に報告し、組織委員会が幹事長室に上げる流れ」と説明した。

今回の懇談会で挙げられた各市町からの主な要望には、東駿河湾環状道路の早期完成や都市計画法の権限を各市町におろすこと、医科系大学の東部への誘致などがあった。終了後の会見で、首長を代表して小池政臣三島市長が「今後の陳情はどうしたらいいのか不安があったが、今日確認できてよかった。今後は年に3〜4回、恒例的に懇談会を開いていくことで合意した」と述べた。細野氏は、東富士演習場周辺対策の事業仕分け入りについて、「予算がなくなることばあり得ない。第10次使用協定の締結は国にとって重要で事実、交渉に入っている。地元当事者に不信感を持たれないよう最大限努力していきたい」と話した。